

話し合い活動の難しい地域で市推進チームが中心となり農地集約化を進めている事例

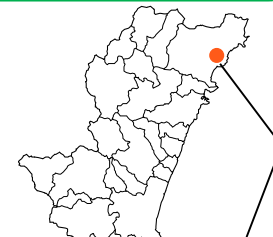
(宮崎県延岡市 ^{むしか まき ゆのきだ} 無鹿・牧・柚の木田地区)

平場・水田地域 農地集約化

地域の状況

- 農業者の高齢化や土地持ち非農家の増加により、担い手へ農地の引き受け依頼が増加してきているものの、担い手の耕作農地が分散錯圃していることから効率的な作業が行えず、これ以上の農地を引き受けることも出来ない状況。
- 約2割が入作での耕作であり、また、道路用地の代替地として当該地区の農地を所有している地区外の地権者が多いことから、地域でのまとまった話し合い(合意形成)を行うことが難しい地域。

(注)人・農地プランの工程表の作成をしていない地区。



延岡市
無鹿・牧・柚の木田地区

取組の内容

- 地域での合意形成が難しい地域へのアプローチとして、延岡市農地中間管理事業等推進会議(市推進チーム)の構成員である県農林振興局から延岡市に対して、担い手と市推進チームを構成員とする農地集約化を進めるための「農地シャッフル会」の運営等を行うための場(延岡市担い手会議(仮称))の設置を提案。
- 提案の結果、当面、市推進チームが「農地シャッフル会」を実施することを決定。
- 試行的に実施した農地シャッフル会(平成31年2月20日)には耕作者である担い手6名(うち1法人)が参加し、耕作者自ら提案したシャッフル案59筆、4.7haについて耕作者間等での話し合いを実施。
 - ※ 当該地区も水田地帯であり、水田面積(自己保全を除く。)の88%が米作である市の特性から、経営所得安定対策の水田情報管理システムを活用し、耕作面積上位の5、6名の参加対象者を県農林振興局が抽出。
 - ※ 耕作者毎に色分けした地図を延岡市が作成。
 - ※ 農地シャッフル会全般の相談やシャッフル会の開催を担い手に案内するなどの取組を農地中間管理機構(駐在員)が支援。

(注)延岡市担い手会議(仮称)の設置については、市で検討中。



シャッフル会での話し合い

成果

- 話し合いの結果、29筆、1.7haで農地を交換(担い手4名(うち1法人)) (令和元年8月1日始期)。今後も定期的に実施予定。
- 取組の横展開として、今年度、新たに1地区(野地地区)でシャッフル会を開催(令和元年11月26日)。
- シャッフル会を機に地域の話し合いへの意識も高まってきており、次年度以降、実質的なプランの作成に向けた取組へと発展させていくことを検討。

<参考>

延岡市農地中間管理事業等推進会議 (市推進チーム)

市の農地中間管理事業及び関連事業を推進するために、市、農地中間管理機構、東臼杵農林振興局、JA、農業委員会事務局、土地改良区事務局を構成員としており、関係機関間の情報共有・協議の場として設置。